

道路ユ-ー-ネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

★三好礼子の★

ナチュラリスト・ロード



三好礼子
エッセイスト・元国際ラリスト
～http://www.fairytale.jp/～



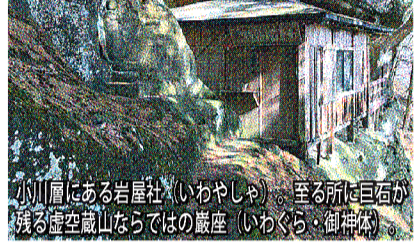
案内役は人生を謳歌し続ける少年・市川恵一さん(68歳)。火縄銃の射撃資格を持つ120人のうちの一人。



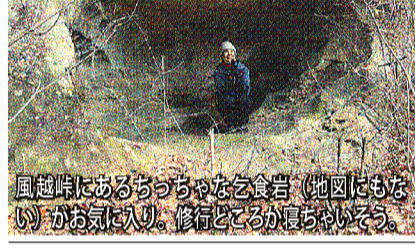
全方向が見渡せる虚空蔵山は戦国時代の要所。なんと4つの地層が見えていた!



地元小学生が発見したシガマッコウクジラの化石。全身では世界最高!



小川層にある岩屋社(いわやしや)。至る所に巨石が残る虚空蔵山ならではの巖座(いわくら・御神体)



風越峠にあるちっちゃな食岩(地図にもない)がお気に入り。修行どころが真夏や秋。

今、夢中になっていること、それは我が町のミステリー探訪。以前から気になっていた地元「松本市四賀化石館」主催の「ミステリーツアー」に参加してみた。見たこともないような光景があちこちに広がっており、感嘆の連続。「凄い!」「わおっ!」「信じられない!」と、たぶん他人が見たら、「アナタどうしちゃったの?」状態になってしまいました。

そう、これは凄いとどこだということ、前から知っていたのです。裏山の林道を散歩すれば断層丸見えだし、近くの化石館には、ここが海の底だったことを物語るマッコウクジラの全身骨格が展示されています(環太平洋で2例目なぞ)。けれど、今回見た洞窟や堆積層の巨大壁などは、規模や歴史や保存など

の点で、世界遺産に値するのではと思いました。遺跡を訪ねてアフリカやメキシコや中国にまで行ったけれど、「我が町にあったのか!」と愕然。足元を知るとはこういうことですね。

「ミステリーツアーのお供は、化石館の学芸員や研究者たちで作った素敵な「四賀の地層・化石・歴史」マップ。35ヶ所のポイント。観光地ではないので看板もパーキングもなく、ほとんどが人々の生活の中ひっそりと存在するのみ。むしろ「荒らすな(松茸あるし)」「誰も来なくていい」雰囲気いっぱい。そのさり気なさや素っ気なさがまた、私の好奇心に火をつけた。この地区を歩くことは、1300万年前の海の底を歩くこと。穏やかな里山の風景の中に隠された荒々しいまでの大地

の営み。見たこともないような風景が忽然と広がり、太古の霊気が湧き上がる。というマップの紹介文そのまのビューポイント。記されていないものも多く、一生かかっても探検しきれないかも。

戦国時代は虚空蔵山(1,139m)を中心。17もの山城があった四賀ベースとなる山々は、もちろん太古の地層であり、その特徴を最大限に利用したものでした。約90平方キロメートルの小さな地域ですが、4つの地層に分かれていたこと(狐屋敷や鼠屋敷という名前が愉快)、四賀の松茸が逸品なのは岩場の根の張り方が理想的だからなど、どの話も面白すぎです。

今、夢中になっていること、それは我が町のミステリー探訪。以前から気になっていた地元「松本市四賀化石館」主催の「ミステリーツアー」に参加してみた。見たこともないような光景があちこちに広がっており、感嘆の連続。「凄い!」「わおっ!」「信じられない!」と、たぶん他人が見たら、「アナタどうしちゃったの?」状態になってしまいました。

そう、これは凄いとどこだということ、前から知っていたのです。裏山の林道を散歩すれば断層丸見えだし、近くの化石館には、ここが海の底だったことを物語るマッコウクジラの全身骨格が展示されています(環太平洋で2例目なぞ)。けれど、今回見た洞窟や堆積層の巨大壁などは、規模や歴史や保存など

の点で、世界遺産に値するのではと思いました。遺跡を訪ねてアフリカやメキシコや中国にまで行ったけれど、「我が町にあったのか!」と愕然。足元を知るとはこういうことですね。

「ミステリーツアーのお供は、化石館の学芸員や研究者たちで作った素敵な「四賀の地層・化石・歴史」マップ。35ヶ所のポイント。観光地ではないので看板もパーキングもなく、ほとんどが人々の生活の中ひっそりと存在するのみ。むしろ「荒らすな(松茸あるし)」「誰も来なくていい」雰囲気いっぱい。そのさり気なさや素っ気なさがまた、私の好奇心に火をつけた。この地区を歩くことは、1300万年前の海の底を歩くこと。穏やかな里山の風景の中に隠された荒々しいまでの大地

の営み。見たこともないような風景が忽然と広がり、太古の霊気が湧き上がる。というマップの紹介文そのまのビューポイント。記されていないものも多く、一生かかっても探検しきれないかも。

戦国時代は虚空蔵山(1,139m)を中心。17もの山城があった四賀ベースとなる山々は、もちろん太古の地層であり、その特徴を最大限に利用したものでした。約90平方キロメートルの小さな地域ですが、4つの地層に分かれていたこと(狐屋敷や鼠屋敷という名前が愉快)、四賀の松茸が逸品なのは岩場の根の張り方が理想的だからなど、どの話も面白すぎです。

冊という蔵書を熟読。地名を言う、その歴史と自然をエピソードで語れることとは知っていましたが、そこに幼い頃から遊び場だった彼の豊富な山体験が加わり、鬼に金棒。嬉しそうに山を案内する彼こそミステリーパトロール(尊敬を込めて)。地域の財産はやっぱり人ですね。

そして今回の衝撃ツアー! 私には、もっと我が街を訪ねて深く知ろうと決心。遺跡や歴史や地層の上に今の時代の生き方をそと重ねるようにバイクや徒歩や自転車や旅をしてオリジナルマップを作り、それを仲間と提供&共有できたら最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

冊という蔵書を熟読。地名を言う、その歴史と自然をエピソードで語れることとは知っていましたが、そこに幼い頃から遊び場だった彼の豊富な山体験が加わり、鬼に金棒。嬉しそうに山を案内する彼こそミステリーパトロール(尊敬を込めて)。地域の財産はやっぱり人ですね。

そして今回の衝撃ツアー! 私には、もっと我が街を訪ねて深く知ろうと決心。遺跡や歴史や地層の上に今の時代の生き方をそと重ねるようにバイクや徒歩や自転車や旅をしてオリジナルマップを作り、それを仲間と提供&共有できたら最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

注・4つの村が集まって1995年に誕生した四賀村は、2005年に松本市に編入。名前は消えたものの、「四賀」という地域名は人々に愛され、あちこちで使われています。

注・4つの村が集まって1995年に誕生した四賀村は、2005年に松本市に編入。名前は消えたものの、「四賀」という地域名は人々に愛され、あちこちで使われています。

かしくなったの? 壊れてきたら、意図を持っての危険行為も多くみられます。

かしくなったの? 壊れてきたら、意図を持っての危険行為も多くみられます。

毎年の事ですが、これかのが、そうす「飲酒運」が交通事故です。数々の事故原因は何だと

毎年の事ですが、これかのが、そうす「飲酒運」が交通事故です。数々の事故原因は何だと

「あっ、あの大きさ...」

「今年こそは、キミと...」

「あっ、あの大きさ...」

「今年こそは、キミと...」

九州の散歩道

一面の銀世界を行く「樹氷の時」

フリージャーナリスト 湯浅玲子

長崎県の島原半島に位置する雲仙は、古くから保養地として知られた場所。現在は雲仙天草国立公園の一部ですが、もともとは雲仙国立公園として1934(昭和9)年に日本で最初の国立公園に指定されました。明治・大正期には欧米人の保養地として発展し、今でも洋風の瀟洒なホテルが残っています。



氷点下の風が吹き付けることのできる美しい樹氷



山頂までの空中散歩が楽しめる雲仙ロープウェイ

雲仙普賢岳で198年ぶりの噴火が始まり、翌年には大規模な土石流や火砕流が発生して人的被害も出る事態になりました。当時、二つ重要な役割がありました。緊急時の避難施設として頑丈な駅舎が指定されているのです。火山が多く、台風を通り道もある九州は昔から災害の多い地域です。観光と防災をかねた施設は今後も重要性を増していくでしょう。

雲仙を代表する景観が、島原半島の中央にそびえる雲仙岳です。普賢岳、国見岳、妙見岳など、いくつかの山を総称してこう呼んでいますが、初の国立公園に指定されただけに、四季折々の自然がとても美しいところ。春には山々をピンクに染めるミヤマキリシマ、また秋は紅葉が山頂から下りて来ると、それは最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

雲仙を代表する景観が、島原半島の中央にそびえる雲仙岳です。普賢岳、国見岳、妙見岳など、いくつかの山を総称してこう呼んでいますが、初の国立公園に指定されただけに、四季折々の自然がとても美しいところ。春には山々をピンクに染めるミヤマキリシマ、また秋は紅葉が山頂から下りて来ると、それは最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

雲仙を代表する景観が、島原半島の中央にそびえる雲仙岳です。普賢岳、国見岳、妙見岳など、いくつかの山を総称してこう呼んでいますが、初の国立公園に指定されただけに、四季折々の自然がとても美しいところ。春には山々をピンクに染めるミヤマキリシマ、また秋は紅葉が山頂から下りて来ると、それは最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

雲仙を代表する景観が、島原半島の中央にそびえる雲仙岳です。普賢岳、国見岳、妙見岳など、いくつかの山を総称してこう呼んでいますが、初の国立公園に指定されただけに、四季折々の自然がとても美しいところ。春には山々をピンクに染めるミヤマキリシマ、また秋は紅葉が山頂から下りて来ると、それは最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!

雲仙を代表する景観が、島原半島の中央にそびえる雲仙岳です。普賢岳、国見岳、妙見岳など、いくつかの山を総称してこう呼んでいますが、初の国立公園に指定されただけに、四季折々の自然がとても美しいところ。春には山々をピンクに染めるミヤマキリシマ、また秋は紅葉が山頂から下りて来ると、それは最高。さっそく詳しい地図を集め始め、小型のオフロードバイクを手配。と勝手に盛り上がっていたら、一緒に地図を作ろうという輩が次々と現れました。バイクや自転車やトレランの強者たちですが、その昔ここでワイワイやっていた末裔同士のなかにもいません。これぞミステリーパワー!!